

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	634	配信日	2025/11/30	ジャンル	業界情報
テーマ	日中関係の変化と買取業界への影響				

ここ最近の国際情勢の変化により、中国の景気減速・消費動向の鈍化、
入国者数の変化などが話題となっています。

実はこの“日中関係の変化”は、ロレックス・ヴィトン・金相場など 中古市場全体に確実に影響を与えています。
今回は、中古・買取業界に直結する「日中関係の影響」から現場で使えるトークも交えて共有します。

1. 中国の景気減速 → 高額時計の海外流通ルートが弱体化

ここ1～2年、中国での高額消費が確実に落ちています。その結果起きているのが
ロレックスの“転送ルート”が細くなる

以前までは「日本で買って中国で高く売る」というルートが相場を押し上げていた。

しかし現在、中国バイヤーの買い付け量減少・富裕層の購買抑制・中国国内での監視強化

これにより、ロレックスの国内相場が下支えされにくくなっている。

2. 資産の“中国依存”が減り、金相場がより強くなる

中国の不動産バブル崩壊によって

富裕層が資産を「金（GOLD）」に逃がす流れは継続中。

→世界的に金需要が落ちない

→結果、日本の金相場も高止まり

これは実際に買取現場でも実感している通り。

3. 現場で使える“営業トークへの落とし込む”

A：相場が下がっている説明に

「今は中国からの買いが弱くなっていて、
高額モデルは以前ほど値段が伸びにくい時期です。」

B：逆に“売り時を促す”場合

「世界情勢の不安定さから金や時計は強い相場が続いています。

相場が高騰している今がチャンスです。」



日中関係はブランド市場に直接影響を与えます。特に“海外需要”を前提にした
相場構造に変化が起きているため、買取現場では相場説明の根拠として
世界情勢を語れることが重要になります。

ただの「相場です」ではなく、“なぜ今この価格なのか”を説明できる査定士が強い。